

# 編 修 趣 意 書

## (教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-114	高等学校	家庭	家庭総合	
※発行者の番号・略号	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50・大修館	家総311	新家庭総合 主体的に人生をつくる		

### 1. 編修の趣旨及び留意点

教育基本法改正等で明確になった教育の理念をふまえ、生涯を通した「生きる力」に必要な家庭科の知識・技術の習得をめざすとともに、自立と共生を兼ね備えた自己の生活や社会を主体的に創造する実践力のある、心身ともに健全な人間の育成に寄与する教科書をめざしました。

### 2. 編修の基本方針

- ◎**自己実現**を志向して生活を主体的に創造する力を付けることを教科書全般にわたって配慮する。
- ◎**男女がともに**理解し合い、協力し合って、これからの家庭や社会を築くことをめざす内容にする。
- ◎子どもや高齢者、障がいがある人々との関わりや福祉について考え、**ともに生きる**生活を築くことをめざす内容にする。
- ◎社会の変化に対応して自立した生活を創るために必要な**基礎的・基本的な知識・技術**を確実に身に付けることができる内容にする。
- ◎歴史の中で培ってきた衣食住に関する生活文化を学び、自ら**文化の継承と創造の担い手**になる内容とする。
- ◎**持続可能な社会**をめざして、地球規模での環境保全と身近な生活とのかかわりについて考え実践することをめざす内容とする。
- ◎自ら生活課題を見出し、**主体的に解決**する学習方法を重視するようにする。
- ◎**適切な意思決定**ができるように意思決定のプロセスを学ぶとともに、決定に際しての価値判断に必要な的確な**資料等を豊富に用意**した教科書にする。

### 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>第1章</b> 人の一生と青年期の課題をみつめよう	<ul style="list-style-type: none"><li>・人のライフステージと発達課題および自分をみつめ、人生を展望することを取り上げました。(第2号)</li><li>・主体的な人生を築くために適切な意思決定をおこなうことを取り上げました。(第2号)</li><li>・職業生活および経済的自立の重要性について取り上げました。(第2号)</li><li>・共生社会の創造をめざすことを取り上げました。(第3号)</li></ul>	p. 13 p. 18 p. 20~21 p. 17
<b>第2章</b> 家族・家庭と社会について考えよう	<ul style="list-style-type: none"><li>・現代の家族のようすについて取り上げました。(第1号)</li><li>・家庭生活と職業生活のバランスについて取り上げました。(第2号)</li><li>・男女共同参画社会における家庭と社会の創造について取り上げました。(第3号)</li></ul>	p. 25 p. 27, 33 p. 32

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>第3章</b> <b>子どもと子育てについて知ろう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長・発達のようにすについて取り上げました。(第1号)</li> <li>・子どもの時期の人生における位置づけや大切さについて取り上げました。(第2号)</li> <li>・自己実現にむけて自分をみつめ人生を展望することを取り上げました。(第2号)</li> <li>・子どもとかかわる仕事の例を取り上げました。(第2号)</li> <li>・保育において基本的な生活習慣、社会的な生活習慣をつけることとともに、家庭保育と集団保育の果たす役割を取り上げました。(第2号)</li> <li>・家庭生活と職業生活のバランスについて取り上げました。(第2号)</li> <li>・子育ての親の責任を取り上げました。(第3号)</li> <li>・男女共同参画社会における家庭と社会の創造について取り上げました。(第3号)</li> <li>・子どもの人権と福祉について具体的に取り上げました。(第3号)</li> <li>・子どもの成長・発達と母体の健康において、生命の尊さを取り上げました。(第4号)</li> <li>・高校生自身が考える生命に対する責任について取り上げました。(第4号)</li> <li>・児童文化財と伝承遊びについて取り上げました。(第5号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>p. 34～35, 40～45</li> <li>p. 36, 52</li> <li>p. 36, 52～53</li> <li>p. 39</li> <li>p. 46～47, 56</li> <li>p. 53～56</li> <li>p. 53</li> <li>p. 53</li> <li>p. 57</li> <li>p. 37～39</li> <li>p. 52</li> <li>p. 49</li> </ul>
<b>第4章</b> <b>高齢者の生活と福祉について考えよう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期の健康と課題について取り上げました。(第1号)</li> <li>・高齢者の日常生活を支える介助の方法について取り上げました。(第1号)</li> <li>・高齢者の生活のようすや社会とのかかわり、活躍のありようについて取り上げました。(第2号)</li> <li>・高齢期の人生における位置づけや大切さについて取り上げました。(第2号)</li> <li>・高齢者等の介護には、その人らしさを尊重する支援が必要であり、その方法について具体的に取り上げました。(第2号)</li> <li>・高齢者とかかわる仕事の例を取り上げました。(第2号)</li> <li>・高齢者福祉の理念と理念を実現するさまざまな施策について取り上げました。(第3号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>p. 66～67</li> <li>p. 68～69</li> <li>p. 60～61, 63～65</li> <li>p. 62～63</li> <li>p. 67</li> <li>p. 67, 72～73</li> <li>p. 70～75</li> </ul>
<b>第5章</b> <b>共生社会をつくらう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会で活動することを取り上げました。(第2号)</li> <li>・高校生にとっての地域活動、ボランティアを職業選択との関係で取り上げました。(第2号)</li> <li>・ユニバーサルデザインが取り入れられているようすを生活と社会の具体例から確認できるよう取り上げました。(第3号)</li> <li>・生活における共生の大切さについて取り上げました。(第3号)</li> <li>・高校生に対する支援として、地域における青少年の自立支援について取り上げました。(第3号)</li> <li>・社会福祉と社会保障について具体的に取り上げました。(第3号)</li> <li>・共生社会の一員としてのありかたを取り上げました。(第3号)</li> <li>・環境に配慮した地域生活について取り上げました。(第4号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>p. 79～81</li> <li>p. 81</li> <li>p. 76～77</li> <li>p. 78, 80～81</li> <li>p. 81</li> <li>p. 82</li> <li>p. 83</li> <li>p. 79</li> </ul>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>第6章</b> <b>経済生活を設計しよう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な人生を築くために適切な価値判断および意思決定することを取り上げました。(第2号)</li> <li>・職業と経済計画について取り上げました。(第2号)</li> <li>・契約における消費者の責任について取り上げました。(第3号)</li> <li>・消費者の権利と責任ある行動を取り上げました。(第3号)</li> </ul>	<p>p.100～101</p> <p>p.107</p> <p>p.93</p> <p>p.98～99</p>
<b>第7章</b> <b>生涯の健康を見通した食生活をつくらう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な身体を養うために食事の役割を取り上げました。(第1号)</li> <li>・食事と生活リズムの関係、食生活の課題をテーマに、食を見直す視点の大切さを取り上げました。(第1号)</li> <li>・栄養素と食品の関係について、調理性とかかわらせて取り上げました。(第1号)</li> <li>・食の安全を自ら維持する必要性と技術を取り上げました。(第1号)</li> <li>・健康の維持を目的に、食事を計画する意味と方法について具体的に取り上げました。(第1号)</li> <li>・食事をつくるのに必要な知識や技術について具体的に取り上げました。(第1号)</li> <li>・主食、主菜、副菜、汁ものと栄養素、食品の関係をつかんで、実生活にいかせるような実習題材を取り上げました。(第1号)</li> <li>・私たちの衣食住の生活と環境について循環・資源・調和の視点から取り上げました。(第4号)</li> <li>・食文化について、家庭や地域、国際的な視点から取り上げました。(第5号)</li> <li>・伝統的で豊かな食文化を継承・発展させるために、日本の行事食を理解し実習することを取り上げました。(第5号)</li> </ul>	<p>p.114</p> <p>p.115, 117</p> <p>p.118～129</p> <p>p.130～133</p> <p>p.138～143</p> <p>p.144～165</p> <p>p.152～165</p> <p>p.134～135</p> <p>p.112～113, 116, 136～137</p> <p>p.136～137, 口絵①～②, ⑤～⑥</p>
<b>第8章</b> <b>健康で快適な衣生活をつくらう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の機能について健康維持とのかかわりにおいて取り上げました。(第1号)</li> <li>・快適に生活することを支える被服の機能や性質、構造について取り上げました。(第1号)</li> <li>・人の一生と被服の関係について取り上げました。(第1号)</li> <li>・被服の管理を効率的に科学的に営む視点を取り上げました。(第1号)</li> <li>・被服をつくる知識や技術について具体的に取り上げました。(第1号)</li> <li>・衣生活において自己表現をすてきにするを取り上げました。(第2号)</li> <li>・私たちの衣食住の生活と環境について循環・資源・調和の視点から取り上げました。(第4号)</li> <li>・衣文化の成り立ちを衣生活の変遷等の歴史的視点や世界の民族服等の国際的な視点から取り上げました。(第5号)</li> <li>・自然に調和した伝統的な衣服を取り上げました。(第5号)</li> <li>・我が国が歴史的に育んできた「つくる技術」の大切さを取り上げました。(第5号)</li> </ul>	<p>p.168～169</p> <p>p.172～177</p> <p>p.178</p> <p>p.179～183</p> <p>p.186～193</p> <p>p.170～171</p> <p>p.172, 184～185</p> <p>p.166～167, 176</p> <p>p.166～167, 185</p> <p>p.186</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>第9章</b> <b>安全で快適な住生活をつくろう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した住まいかたについて取り上げました。(第4号)</li> <li>・健康で安全な住生活について取り上げました。(第4号)</li> <li>・環境保全につながる住生活の管理について取り上げました。(第4号)</li> <li>・住文化の成り立ちを住様式の変遷等をふまえて取り上げました。(第5号)</li> </ul>	<p>p. 199</p> <p>p. 204～207</p> <p>p. 209</p> <p>p. 197, 212～213</p>
<b>第10章</b> <b>持続可能な社会をめざして行動しよう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全について地球規模で考え、身近なところから行動することを取り上げました。(第4号)</li> <li>・環境保全の視点から生活を改善することを取り上げました。(第4号)</li> <li>・持続可能な社会をめざして環境基本法や容器包装リサイクル法を取り上げました。(第4号)</li> </ul>	<p>p. 216</p> <p>p. 220～221</p> <p>p. 221</p>
<b>第11章</b> <b>生活をデザインしよう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業および生活との関連を、キャリア、ワーク・ライフ・バランスの視点から取り上げました。(第2号)</li> <li>・自分らしい生きかたのライフプランについて取り上げました。(第2号)</li> <li>・家庭科で習得した知識や技術を活用して、よりよい生活を築くためにホームプロジェクトを取り上げました。(第3号)</li> <li>・よりよい地域社会を築くために、学校家庭クラブ活動を取り上げました。(第3号)</li> <li>・地域社会で活動することを取り上げました。(第3号)</li> </ul>	<p>p. 227～228</p> <p>p. 229</p> <p>p. 233～235</p> <p>p. 236</p> <p>p. 236</p>

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・生涯を通して確かな生活を築くために必要な経済計画について多面的・具体的に取り上げました。

# 編 修 趣 意 書

## (学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-114	高等学校	家庭	家庭総合	
※発行者の番号・略号	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50・大修館	家総311	新家庭総合 主体的に人生をつくる		

### 1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ◎学習意欲をもたせるために、各章とびらをイラストや写真等を用い、ビジュアルに構成しました。
- ◎学習のはじめに自分の学習計画が立てられるよう、大項目の下に**学習のねらい**を示しました。
- ◎学習の導入として、簡単な問いを示しました。
- ◎図表等の資料や用語解説や補足資料となる側注のほか、学習を深めるための「**FOLLOW UP**」「**Link**」を設けました。



- ◎「**try & hint**」「**Practice**」といった課題を設定し、実践的・主体的・発展的学習につなげるようにしました。



- ◎学習を深く掘り下げ、課題解決に取り組めるよう「**Theme Study**」を設けました。



### 2. 対照表

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
はじめに		p.6~9	2
	(1) 人の一生と家族・家庭		
第1章 人の一生と青年期の課題をみつけよう 1 人の一生と生涯発達 2 青年期の課題と自立 3 主体的に生きるための意思決定	ア 人の一生と青年期の自立	p.10~21	8
第2章 家族・家庭と社会について考えよう 1 現代の家族・家庭 2 家族・家庭に関する法律 3 家族・家庭と社会	イ 家族・家庭と社会	p.22~33	8

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
	(2) 子どもや高齢者とのかかわりと福祉		
第3章 子どもと子育てについて知ろう 1 子どもの誕生 2 子どもの成長・発達 3 子どもの生活と保育 4 子育てと子どもが育つ環境	ア 子どもの発達と保育・福祉	p.34～59	16
第4章 高齢者の生活と福祉について考えよう 1 高齢期という時期 2 高齢者の生活と課題 3 高齢期の生活を支える高齢者福祉 4 高齢社会の現状と課題	イ 高齢者の生活と福祉	p.60～75	10
第5章 共生社会をつくろう 1 とともに生き、ともに自立する 2 生活と社会のセーフティネットワーク	ウ 共生社会における家庭や地域	p.76～85	4
第6章 経済生活を設計しよう	(3) 生活における経済の計画と消費		
1 現代の消費生活	ア 生活における経済の計画	p.86～91	16
2 消費者問題の現状と課題 3 消費者の権利と責任	ウ 消費者の権利と責任	p.92～99	
4 消費生活における意思決定	イ 消費行動と意思決定	p.100～103	
5 家庭の経済生活	ア 生活における経済の計画	p.104～111	
	(4) 生活の科学と環境		
第7章 生涯の健康を見通した食生活をつくろう 1 食生活の成り立ち 2 栄養と食品 3 安全で環境に配慮した食生活 4 食の文化を考えよう 5 健康につながる食事計画 6 調理の基本を学ぼう	ア 食生活の科学と文化	p.112～165	34
第8章 健康で快適な衣生活をつくろう 1 衣生活をみつめよう 2 着ごこちのよい被服 3 衣生活の計画と管理 4 被服製作の基本	イ 衣生活の科学と文化	p.166～193	18
第9章 安全で快適な住生活をつくろう 1 住生活の成り立ち 2 家族の生活と住空間 3 健康で安全な住生活 4 よりよい住環境の実現をめざして	ウ 住生活の科学と文化	p.194～213	12

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第10章 持続可能な社会をめざして行動しよう 1 環境と調和のとれた生活 2 持続可能な社会の実現をめざして	エ 持続可能な社会を目指したライフスタイルの確立	p.214~223	6
第11章 生活をデザインしよう	(5) 生涯の生活設計		6
1 ライフプランを考えよう	ア 生活資源とその活用	p.224~227	
	イ ライフスタイルと生活設計	p.228~231	
2 問題を解決してよりよい生活をつくろう	(6) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	p.232~236	
		計	140